

TAKE FREE

介護を応援する情報誌 [カイゴタイムズ]

# 介護 Times

【全国版】

4

Apr.2021

介護のこと新発見。  
地域密着、  
この街と共に。



02 **いのち** 『医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス』 理事長・院長 笹岡 大史 先生  
よい「看取り」をできる人が、一人でも増えたらー。



05 **「ミライ道場」 奨学生座談会**

夢 根本 紘志 さん 仲宗根 花 さん 大野 高義 さん

「自分がやりたいこと」の視点で関われば、介護はつらくない。  
自分の成長につながる！



08 **想い** 『横浜市多業種交流会 浜CHAN（はまちゃん）』 発足人 志摩 宙人 さん

誰一人取り残されない世の中を～  
横浜市多業種交流会「浜CHAN」



10 **旅行** 『東京トラベルパートナーズ株式会社』 代表取締役 栗原 茂行 さん

臨場感あふれるオンラインツアーで  
施設にいながら、旅気分を味わう！



12 **介護×不動産 座談会 vol.3** 介護業界×不動産業界 計15名による座談会

— 豊島区から考える —  
どうする？ 超高齢化社会における「命の管理」



16 **音楽** 『株式会社 Wellone's 取締役』『Leaf音楽療法センター センター長』 武知 治樹 さん  
もっと身近に音楽療法を！



19 次号予告

20 広告掲載申込書

21 編集メンバー紹介

介護 【全国版】  
Times

TOWN  
介護 TOKYO

ネットでも読めます！  
最新号、バックナンバー



『介護の資格最短net』で読むことができます。 **介護の資格 最短net** 🔍

<https://www.acpa-main.org/kaigotimes.html>



# いいのち

よい「看取り」をできる人が、  
一人でも増えたらー。

『医療法人忠恕春日部在宅診療所ウエルネス』 理事長・院長 笹岡大史 先生



笹岡先生

通院が難しくなってきた方のご自宅や高齢者住宅などへ診療に向う「在宅医療」を行う、医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス（埼玉県春日部市）。同診療所を開業し院長を務めるのは、本号の表紙を飾る笹岡大史先生（57歳）だ。この超高齢化社会の中、看取りや緩和ケアといった分野が抱える課題はまだ多い。今回は「一人の医者として、一人の人間として」医療と介護に向き合う笹岡先生にお話を伺った。

## 医者への道を目指して

産婦人科の医者である父親の姿を見て育ち、自然に医者を目指すようになったという笹岡先生。こう聞くと、医者の家庭に育ち医者を目指した——と約束された目標を掲げたように感じるが、実は、笹岡先生のご実家は陶器屋を営まれてい

たという。三重県四日市の伝統的な焼き物「萬古焼」を取り扱い、東南アジアへの輸出なども行っていたそうだ。そして医者であるお父様は、養子として迎え入れられたとのこと。

陶器屋という中小企業で育つ中、医者である父親、また、お店や工場で働く従業員など様々な人たちに囲まれて幼少期を過ごす。

その後は明徳義塾中学・高等学校に進学し、全国から集まる仲間と共に寮生活を送った。医者になるという意志は変わることなく、北里大学の医学部へ進学。勉強とともに、アメリカンフットボールにも励み、文武両道を貫いた。

「よく、お医者さんらしくないね」と患者さんからいわれるんです。私にとつて、これは最高の誉め言葉なんですよ」と話す笹岡先生。幼少期から学生時代に



本誌「4月号」表紙モデル

笹岡先生

わたり、多様な人たちに囲まれてきたという背景がそこにあるように窺える。



学生時代の笹岡先生  
(背番号70番)

### 開業までの紆余曲折

大学卒業後は、心臓カテーテル治療など専門性の高い技術が必要な治療に携わったり、大学病院の循環器内科部長を務めるなど様々な経験を積まれた笹岡先生。また、経営や制度といった分野にも興味を持ち、慶應義塾大学ビジネス・スクール(KBS)にも通ったという。特に関心を持ったのが、大学卒業時には制定されていなかった介護保険制度。「介護や超高齢化に伴う医療が、ますます必要になるのでは？」と感じたそう。そんな中、とある介護老人保健施設から「介護に興味があるなら、施設長をしてみてはどうか？」と誘いがかかる。

今まで得てきた経営や介護保険の知識が役に立つのでは、との思いで就任を決心したという。

笹岡先生が取り組んだのは、「看取り」までを見据えた運営だった。介護施設の中でできる診断・治療を適切に行うことで、救急車の出動件数を激減することができたそう。 「ベッド数を増やしたりするのはではなく、医者として本来やるべきことをやれば良い方向に向かうんです」と当時を振り返る。

その後、後任となる施設長が決まり精神科病院の内科医に。認知症専門病棟を担当するが、たまたま紹介された有料老人ホーム1階の空き家がきっかけとなり、現在の診療所の開業に至ったそう。



### 命の大切さを伝える

診療所のモットーは「命の大切さを伝えること」。生と死に立ち会う機会が少なくなった現代社会に対し「昔はお産婆さんがいて、出産に立ち会うという経験を得られていたんです」と笹岡先生は話します。また、「看取りも一緒です。病院に任せれば安心かもしれませんが、隔離ともいえるんです」と指摘する。

家族と会えない病室で過ごすことにより、寂しさが増し、痛みも感じやすくなるという。「病院に比べ、自宅や施設内で見送った方のほうが、安らかな表情をされていた方が多いように感じます」。

医者というと「命を救う」といったイメージが強いが、笹岡先生によると、その一方で「よい看取り方」も大切な医療の一つだという。「点滴の量の減らし方など色々ありますが、学べる場がないんです。ある程度の状態になったら、症状の緩和を考えないといけない。そのために、ご自宅など安心できる場所に帰すことも必要なんです。在宅医療との連携の経験の少ない医師、看護師や病院がまだまだ多いんです」と現状を語る。

### 医療と介護の連携

笹岡先生によると、「医療と介護の間でしっかりと連携がないと、いい医療もいいケアもできない」という。「医療と介護は一人の方に対して並列してあるべきもので、両者の連携をしてバランスはととても大切です。肺炎の治療にしても、まずは予防が大事。正しいケアが、されていないと口の中も汚くなり、肺炎を繰り返すことになります。もちろん治療はできますがケアが優先です。無駄な医療を施すのではなく、必要な時の医療なんです。しかも、医療介護の理想的な連携は利用者に対するメリットだけではなく、介護施設の運営にも好影響がありベッド稼働率が100%を継続的に超えている



特別養護老人ホームもあります」。

また、「治療や手術だけが医療ではない」とのこと。「治療や手術をして、元に戻すだけでは駄目なんです。その方の生活環境を整えたり、介護サービスにつなげたりしないと、同じことの繰り返しになってしまう」。

このように先を見据えた医療を施すためには、相手を知ること、向き合うことが不可欠といえる。「一人の人として向かい合うことが大切なんです。人と人の触れ合いは、医者として忘れてはいけません。患者さんとの信頼関係があつてこそなんです。信頼関係を築くことができなければ、治療への協力も得られない。手術や薬も拒否されてしまう」とその大切さを語る笹岡先生。

このような対人関係を築くにあたり、様々なコミュニケーションに関する手法はあるが、根本として大切なのはそれを用いる「人」ではないだろうか。笹岡先生は道徳観や人間学を重要視し、人間学を学べる月刊誌『致知』を用いたスタッフ研修を定期的に行っている。

「人として、どう生きるべきか？」を考える人間学を始め、医療・介護以外のことも知りフィードバックできるような

取り組みができればという笹岡先生。

「残りの人生、次の世代にもつなげていきたい。若い世代の人たちと一緒に仕事をしたいですね。そして、よい『看取り』ができる人が、一人でも増えたら嬉しいです」。



(左から) 笹岡先生、近藤カメラマン、藤井編集長



ライター 藤川 悠子

医療法人忠恕 春日部在宅診療所 ウエルネス

〒344-0051 埼玉県春日部市内牧3701-1 エミナース春日部1F  
☎ 048-792-0772



# 「ミライ道場」 奨学生座談会

# 夢

「自分がやりたいこと」の視点で関われば、  
介護はつらくない。自分の成長につながる!



介護  
×  
教育

介護  
×  
児童福祉

介護  
×  
演劇

## 根本 紘志 さん (30歳)

東京都開成高校から東京大学法学部へ。さらに教育学研究のため東京大学大学院学際情報学府へ。2019年卒業後、データサイエンスを使い社会を変える起業家を支援する「株式会社DEEPCORE」にて教育・介護サービスに関わる起業家を支援。ミライ道場では学習進学指導、進路相談に乗るサポーター。



## 仲宗根 花 さん (20歳)

日本社会事業大学福祉援助学科3年。沖縄県立小禄高校出身。剣道2段で、剣道強豪校でキャプテンを務めた。大学では児童福祉を勉強中。少年院の「法務教官」を目指し、出身の沖縄のために貢献したいと願っている。



## 大野 高義 さん (29歳)

兵庫県立西宮香風高校卒業後、「劇団たんぼぼ」「俳優座」を経て、桐朋学園芸術短期大学音楽専攻へ社会人入学。卒業後、同大学演劇専攻に再入学。さらに東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科へ。現在、大学院に通いながら、「NPO法人きりんの会」で障がい者福祉に携わる。



## 新しい奨学金制度「ミライ道場」

「ミライ道場」は、経済的な理由で進学が困難な学生等が、介護施設で働きながら、「自分の力で進学する」介護インターンシップ型自立支援プログラム。自身も新聞奨学生だった奥平幹也さん（ミライ道場代表）が創設し、学校や受け入れ先を開拓してきた。



ミライ道場 代表 / 奥平 幹也さん



柔軟で迅速なミライ道場の対応で、  
「進路変更」の道も切り拓けた！

仲宗根 高校時代は剣道の遠征費などで金銭面の負担をかけていたので、東京の大学へ通う学費では親に無理をさせたくないと思っていました。ミライ道場は、奨学金の説明会に参加した父が勧めてくれました。児童福祉を学ぼうとしていたので、介護施設も勉強になると思いました。

大野 僕は高校卒業後、プロの舞台俳優として活動していましたが、音楽を学ぶために短大の音楽専攻に社会人入学しました。短大2年間の学費は自分が働いた



(左) 仲宗根さん (右) 大野さん

お金で賄いましたが、卒業間近になり、「もう少し、演劇を学びたい！」と思うように。でもお金はない。就職か進学か悩みながら「奨学金」を検索していたら、ミライ道場がヒットしました。奥平さんに電話をしたら、なんとその日のうちに面談をしてくれて、演劇専攻の入学手続きに間に合わせてくれました！

根本 法学部を卒業して、さらに教育心理学を研究したくなり、大学院浪人をしました。「大学院へ行くなら、学費は自分で出さないか」が親の方針。ところが、経歴上は一回就職したことになり、家庭も余裕がないわけではなかったので、適用される奨学金制度がなかなかなくて……。そんなとき、ネット検索でミライ道場を知り、大学院へ進めました。

**夜勤で利用者と接しながら、普通のバイトでは得られない学び**

仲宗根 私は認知症のグループホームで夜勤をしています。1年生のときは身体が慣れなくて大変でした。利用者の方へどう話しかけていいかわからなかった。先輩の声掛けや寄り添う目線を見ました。一人でワンフロア9人を見



根本さん

ているので、夜中に何人も起きてしまう。と焦ってしまうこともあります。優先順位を自分で考えて、ほかの人に「少しだけ待てますか？」と声掛けをしたりできるようになりました。

大野 介護では「演劇」も活かしています。例えば、夜になって認知症の方が「もう家に帰ります」という時、安心してもらうために演技をすることも。今日は息子さんの設定でいこうか、とか。相手の立場を想像する力も養われ、演劇人として多くのことを学びました。

仕事を始めてすぐに、大学との両立でピンチになったことがあります。週2日の夜勤があるのに、夕方からの舞台稽古が入ってきて、「稽古に全部出ないと単位をあげない」と言われ、奥平さんに相談。「真摯に事実を先生に伝えて交渉するしかないよ」とアドバイスを受けて、

交渉に成功！あきらめない交渉術を学びました。

根本 僕は特別養護老人ホームで3年間、日曜日に夜勤をしました。杖なしで歩ける方から寝たきりの方まで30名ほどのフロアを担当で、排泄介助で「痛いところを避けてくれて丁寧だ」と喜んでいただけました。ただ、最初のうちは調子よくやり取りしていた方でも、だんだん目や耳の機能が低下し、認知レベルが下がってきたからの接し方を自分の中で見い出せなかったのが心残りです。

**介護を経験し学んだことを、介護ではない世界で活かす！**

仲宗根 将来、少年院で非行少年の更生のための指導をする「法務教官」を目指しています。最近「家庭裁判所調査官」にも魅力を感じています。実は、中2のときに祖母を無差別殺人事件で亡くしました。そのときに再犯を防ぐ教育が大切だと思い、目標になる職業が決まりました。介護から学ぶことは「言葉の壁」。非行少年のなかにも発達遅れの原因で上手く伝わらない子がいるかもしれません。自分の伝えたいことをどうしたら伝



えられるかを、高齢者の方に接しながら日々学んでいます。

大野 現在は大学院で「福祉×表現（芸術）」の研究しながら、正社員として障がい者福祉に関わっています。福祉と演劇の融合もテーマにっていて、3月には乳がん経験者を描く舞台にも立ちました。介護施設でも障がい者施設でも、歌や絵や表現などの芸術が日常的に取り入れられているので、将来は研究者・実演家を目指しています。

根本 僕は大学院で教育と介護を研究しましたが、この二つは似ています。人生で必ず経験することなのに、事前に学ぶことができないまま、突然やってくるからです。自分や家族に介護が必要になる前に、もっと早くから介護の世界を知っていることが重要です。介護分野の起業家の方とお仕事をする際にも大事にしている視点です。

自分の生活も大切にするために

“兼業” “両立” に向く介護業

仲宗根 ミライ道場には負けず嫌いで忍耐強い人が向いていると思います。私もきつい思いはしているけど、周りの子た

ちに比べて自立しているし、「将来、夢を叶えて勝つのは自分だ！」と思って頑張っています。

大野 確かにミライ道場生には、部活を一生懸命やってきた子や、成功体験をもっている人も多いですね。

根本 介護施設は世の中の理不尽が集まっている場所。人間関係、身体が衰えていく苛立ちや看取り。感情的には「負」になる出来事を勉強できます。年上の人との接点があることも、社会に出てから役立ちます。

とはいえ、期間限定だから頑張れましたが、ずっと介護の仕事をするのは大変なことだと思います。

仲宗根 介護業界では産休を取れるのですが、それでも介護現場で長く働く女性が少ないということは、給与面や体力面でなかなか続けられない環境なのでしょうか。介護に限らず、女性がずっと働ける環境にするためには、自分たちで制度を変えていかなくてはと思っています。

根本 介護には、まだ世の中になく新しいサービスが生まれる可能性があります。例

えば、在宅介護で自分の仕事ができなくなっている状況を改善するために、介護している人ごと介護施設に行き、介護しながら、あいまに自分の仕事をするとか。介護は“兼業”に向いています。

大野 兼業といえば、僕たちの学業との両立もいわば兼業。何か自分がしたいことがあるとき、自分の人生を大切にしたいために、介護という仕事を活かしたらいいと思います。

根本 いままでミライ道場の利用者も30〜40名になってきたので、交流会をしながらお互いに刺激し合える関係性も作っていききたいと思っています。



ライター 谷口(さひ)



(左から) 根本さん、仲宗根さん、大野さん

— 介護経営サポートシステム —

# SuisuiRemon

実際に現場で働くスタッフの意見を取り入れながら、常に「使いやすさ」を追求して改良し続けています。 **Suisuiちゃん**

**各種介護保険サービス、障害者総合支援、自費サービスに対応!**

全国5,500事業所様で利用中! | 全国でのユーザーも急増 | 介護のセントケアグループ運営の抜群の安心感

## SuisuiRemon導入 6つのメリット

売上・入力・債権の明細を一元管理	返戻でお困りの方は効率的な入金管理で回収率アップ	複数事務所の一括管理
簡単便利なスケジュール作成&多彩な入居一時金、前受金管理	介護企業としてのノウハウを活かした介護関連振込	簡単・便利な保険外サービスの登録・管理

経営・運用資金改善、業務効率化、経費削減にも貢献します!

● 早期資金化 ● 他社記録連携 ● 業務効率化の口座振替サービス

安心のサポート 電話 FAX・E-mail リモートサポート

## バージョンアップも自動更新

アセスメント特化型システム

メリット1 アセスメントの標準化を支援!放送大学大学院 山内豊明教授監修「新アセスメント手法」完全搭載

メリット2 看護の質を保証!

メリット3 帳票運動により業務負担を軽減!

メリット4 お客様によるバージョンアップは不要!

**看護のアイちゃん** 訪問看護アセスメント・業務支援システム

全国約540ヶ所の在宅介護を運営するセントケアグループの運営書式集ツールコンフォーム・パッケージ

法定書式集 運用マニュアル 研修内容

1. リスクヘッジ  
コンプライアンスの整備から制度改正に迅速に対応することができます。
2. 管理コストの抑制・削減  
制度対応や研修プログラムの作成等、見えにくい管理コスト(人員)の抑制を可能にします。
3. 本部機能の強化  
本部主導での統一書式の整備や現場からの質問等に対して迅速な対応を可能にします。
4. サービスの質の担保  
新規スタッフのOJTツールおよび毎月の研修ツールにて研修体制を構築できます。

介護のセントケアグループ セントワークス株式会社

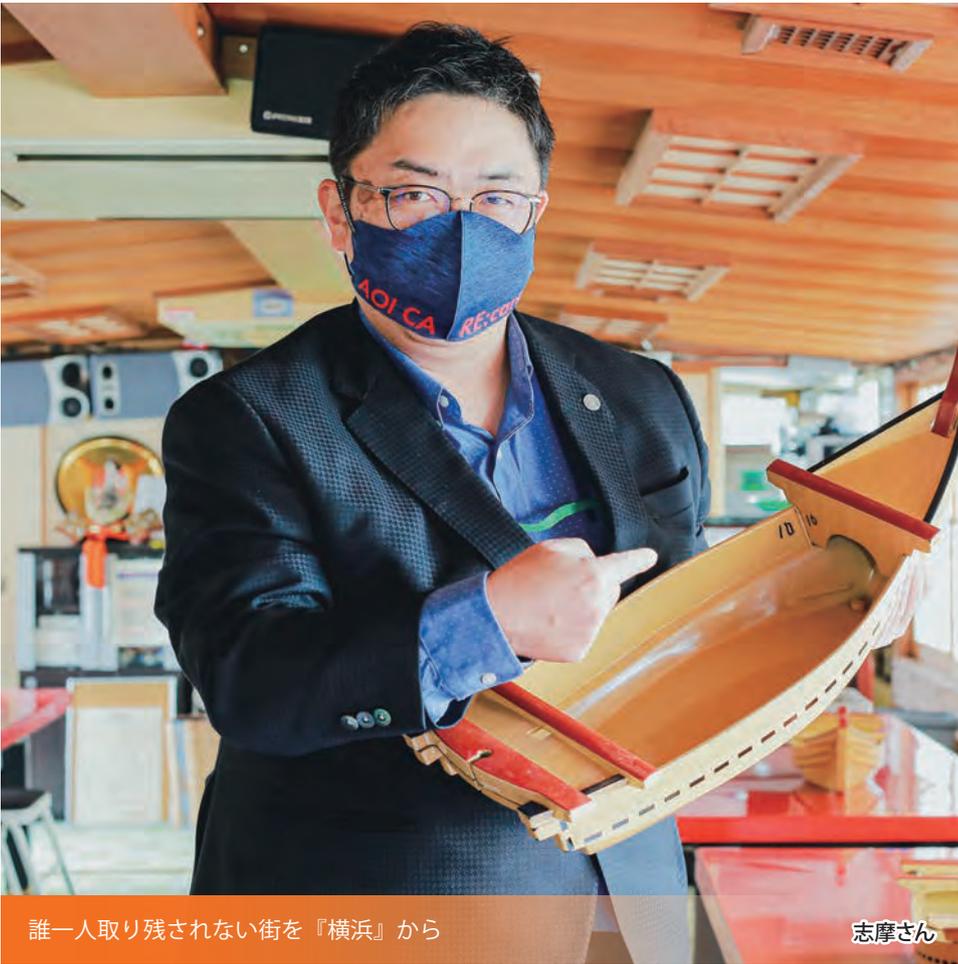
TEL03-5542-8097

# 想

## 誰一人取り残されない世の中を 横浜市多業種交流会「浜CHAN」



横浜市多業種交流会 浜CHAN(はまちゃん)  
発足人 志摩 宙人さん



誰一人取り残されない街を『横浜』から

志摩さん

2019年に発足した任意団体「横浜市多業種交流会『浜CHAN』(はまちゃん)」。「誰一人取り残されない世の中を」という想いのもと発足し、医療と介護の事業所交流会でありながらも、医療介護に限らず一般企業や様々な職種からの参加も可能というバリアフリーな交流会だ。発足人の中心は、サラリーマンとして介護施設運営企業に勤める志摩宙人さん(48歳)。今回は立ち上げの経緯や活動内容についてお話を伺った。

### 誰一人取り残されない街を

「浜CHAN」のきっかけは、近年増えた震災だという。「マンションとかに住んでいたら、せいぜい把握できているのはお隣さんくらいじゃないでしょうか」と語り始める志摩さん。「震災が起きた時、上の階のおばあちゃんとかに気を配



ゆずの地元“磯子”の後輩でもあるマルコ102の浅賀シェフとコロナ明けの楽しい企画を語り合う

るだけでも変わってくる結果があると思うんです。もし、救えた命があったのに救えない、などということがあれば悲しいじゃないですか。誰一人取り残されないように、という想いがベースにあるんです。」

## バリアフリーな交流会を目指して

「温和な雰囲気を持つ志摩さんだが、大学時代からずっと車が好きで。サーキットでドリフトをしたりしてるんです」

と意外な一面を持つ。大学時代は車に熱を入れながらも、福島県の歯科大を卒業。

しかしながら国家試験でつまづくことに……。その後、横浜市内にある家業のクリニックにデイサービスを併設しようと思ったことが介護の世界に入ったきっかけ。当時は安直な考えだったというも、「結果、医療と介護の間に立ち、自分なら両者のすり合わせができるのでは？」と考えるようになったんです」。



浜CHANの役員でもあるお母さん業界新聞の植地さんと

休日はドリフト練習車でサーキットに行くことも

介護・医療の交流会は各地で存在する。しかし、医療や介護などくくりがあることも少なくないため、参加者は制限されてしまう場合が多いという。

志摩さんのこだわりの一つは、誰でも参加できる「バリアフリー」な交流会。

「誰もが誰かのハブでつながっていけば。ジグソーパズルのようにつながっていくイメージを持っています」と語る。横浜が中心とはなるが、アウェイを作らないような他の団体とも積極的につながりを増やしているとのこと。

## 名前に込めた想い

現在はFacebookをベースに、600名以上にもなる多彩な業種の参加者が集まる浜CHAN(2021年3月時点)。

浜CHANという名称だが、「浜」は横浜から。続きのC・H・A・Nにおいては、「C」ならば「CHANCE」でも「CHALLENGE」でも「CARE」でも、といったように、各々が思う「浜CHAN」で良いというコンセプトを持つ。

大切にしていることは、「見返りを求めないこと」という志摩さん。「やってあげたから」というよりも各々が自主的に

やりたいことをする、ということが大事だという。一人ひとりの考えや思いを大切に考えるが、このコンセプトにつながっているのではないかと感じさせられた。

## 全国への広がりを目指して

主な活動内容として、11月の大懇親会を中心に年間4つのイベントを企画しているという。今後は、動画を活用した活動を予定しているとのこと。

また直近では、参加者でもある仲間の屋形船会社が新型コロナウイルス感染症の影響でひどく落ち込んでいるという。応援を込めた活動を行う予定だそうだ。



2020年8月15日に行った若年性認知症当事者の丹野智文氏(左上)の講演と映画ケアニの介護指導を担当した鈴木真氏(右下)の認知症サポーター養成講座をオンラインで行った時の様子

様々な活動で広がりを見せる「浜CHAN」。コミュニティツールとして、北海道から沖縄まで広げたいと抱負を語る。

「日本地図が埋まったら面白いな!とワクワクしています」と、これからの展望を語る志摩さん。他の中心となる役員メンバーも、今は手がいっぱいという中でありながら「こんな時だからこそ、明るくしたいよね」という思いで会議は盛り上がっているそうだ。



ライター 藤川 悠子

## 臨場感あふれるオンラインツアーで 施設にいなながら、旅気分を味わおう！

『東京トラベルパートナーズ株式会社』

代表取締役 栗原茂行さん



栗原さん



コロナ禍で大打撃を受けた旅行業界。栗原茂行さんが経営する東京トラベルパートナーズも例外ではなく、苦しい状況のなかで生き残りをかけて生まれたのが、介護施設に向けたオンラインツアー「旅介(たびすけ)」。施設のレクリエーションに新風を巻き起こしている。

大手旅行社から独立して、  
介護旅行に価値を見出す

オンラインツアーの伊勢神宮参りに参加して、「70年前の修学旅行以来のお伊勢さんだよ」と喜ぶ80歳代の利用者の笑顔があった。コロナ禍の災い転じて、栗原さんが画期的なオンラインツアーを実現。介護施設に新しいレクリエーションが登場している。



大学時代は、経営を学びながらプロボクサーとして活躍していた栗原さん。卒業後は大手旅行社に就職して、社員旅行などの法人営業に10年間携わった。その後、「学生の頃からいつか自分の会社を立ち上げようと思っていた」という栗原さんは、2016年に旅行会社を設立。グループ会社のなかに介護施設もあり、「介護の旅行をやってくれないか」という話もあったので関係各所に介護旅行についてヒアリングを試みたが、ポジティブな話はまったく出てこない。社会的意義はあるが、ビジネスとしてはあまりお勧めしないという話だった。「介護の旅行には手を出さないほうがいいかもしれない」と思っていた栗原さんを動かしたのは、あるアンケート結果だった。入居者約400人のうち、旅行へ行きたいと思っている人は71%なのに、実際に3年以内に日帰りも含め旅行へ行った人はわずか8%。このギャップが心に響いた。「やる価値がある。勝負できるかもしれない!」。元ボクサーの勝負魂に火がついた。

旅行が介護施設にやってくる！

「生中継」「高画質」「参加型」

だが、開業してみると以前からのお付き合いの団体旅行で大忙し。介護の旅行に手が回らなかった。「これではサラリーマン時代と変わらない」と、2018年に介護旅行専門の会社になろうと決意し、「旅介（たびすけ）」を打ち出した。

自分たちで介護タクシーの資格も取り、介護車両も購入し、採算がとれるサービスを考えて。5名集まれば、はとバスより若干高いぐらいの価格で、「鎌倉で大仏見学して、江の島でしらす丼を食べて、海をドライブして夕方までに帰ってくる」というような小旅行を企画した。数十種類のツアーを用意し、施設のほうでは日付を選ぶだけでOK。この企画は好評で、会社もようやく波に乗ってきた。

ところが、コロナの感染拡大でツアーは全てキャンセルに。会社存続のために、社員たちには出向してもらった。

「そこからが本当の勝負でした。苦難や変化があるときほど、ボクサー時代に鍛えた『やり抜く力』が発揮されました。土壇場で思いついたのは「オンライン＋旅行」。6月にタレントのアキラ100%をリポーターに起用して、「鎌倉・長谷寺



オンラインの伊勢神宮参拝ツアー（松阪牛弁当も取り寄せ可能）には357施設、累計約7000名が参加した。1施設で平均20名が参加していることになる。

あじさい散策」のオンラインツアーを実施した。コストはかかったがテレビ中継並みの高画質配信システムを取り入れ、日差しや揺れる葉まで届けることができた。「生中継」にこだわるため、施設に合わせて配信は14時から。クイズやアンケートも取り入れて、「参加型オンラインツアー」は大成功。出向していた社員を呼び戻すことができた。

オンラインとリアル融合で臨場感さらにはアップ！

「旅介」のオンラインツアーがテレビの旅番組と違うのは、リポーターが「施設で見ている高齢者の存在を常に意識し、高齢者の視点で旅をしている」こと。チャットによる双方方向のやりとりも一体感を高める。施設側から「今日はこちらの施設の〇〇さんのお誕生日なんです」とチャットが届けば、「〇〇さん、お誕生日おめでとうございます」と現場からお祝いメッセージを送ることもできる。



「旅ちゃんねる」では、車椅子ユーザーの眠梨（ねむり）桜さんによる、障害者の立場でレポートするバリアフリーオンラインツアーや一般の方も楽しめるオンライン海外ツアー「辻仁成さんと行くパリ」（ヴェルサイユ宮殿を辻さんがナビゲート）なども配信している。



ライター 谷口のりこ

さらに臨場感を高めるために、ツアー先の銘菓を事前に取り寄せて、リアルに味わうもよし。「もう旅行なんて行けない」とあきらめていた高齢者に、旅の高揚感と次回の旅への楽しみを提供している。今後、オンライン花見ツアーも東京から始まり、青森、北海道まで北上していきたい。春以降の配信予定も目白押し。現在のところ無料で配信しているので、「旅介ちゃんねる」をこまめにチェックして、施設にいながら旅行を楽しんでほしい。

《豊島区から考える》

どうする？

# 超高齢化社会における 「命の管理」

座談会  
参加者 (敬称略)

介護  
ケアシリテーター



有限会社 羽吹デザイン事務所  
羽吹 さゆり  
介護事業部  
アモールファティ 代表

介護



株式会社 ツクイ  
田中 洋子  
ツクイ・サンフォレスト東池袋  
ホーム長兼訪問介護管理者

介護



株式会社 ツクイ  
高橋 恵子  
城北エリア長

介護



株式会社 ツクイ  
川江 悠加  
地域戦略課副主任

介護



SOMPOケア株式会社  
松田 司都子  
在宅サービス SOMPOケア  
大塚 管理者

介護



セントケア東京株式会社  
渡辺 亮太  
セントケア巡回ステーション豊島  
専任係長/介護福祉士

不動産  
ケアシリテーター



株式会社 ハウスメイトマネジメント  
伊部 尚子  
ソリューション事業本部  
課長

不動産



しろくまホーム株式会社  
荒井 法雄  
代表取締役

不動産



永幸不動産株式会社  
森下 智樹  
代表取締役

不動産



株式会社ヴェセル東西  
池下 正崇  
専務取締役

不動産



東建設株式会社  
深山 大介  
代表取締役

不動産



公益社団法人  
全国宅地建物取引業協会連合会  
岡崎 卓也

不動産



公益社団法人  
全国宅地建物取引業協会連合会  
斎藤 佑樹

不動産



公益社団法人  
全国宅地建物取引業協会連合会  
鈴木 淳統

オブザーバー



サイボウズ株式会社  
松村 克彦  
社長室  
クラウドソーシャルデザイナー

超高齢化社会において深刻化する「孤独死」。

加えて、近年では住民の認知症等を起因とした近隣トラブルや賃貸への高齢者入居拒否も大きな問題となり、不動産業者は日々「住宅の管理」のみならず、本来は業務外である入居者の「命の管理」の対応に追われている。

現状を打破するには介護業界と不動産業界、ふたつの業界がうまく連携していく必要があるのではないかと。

これらの課題に加えて「空き家率23区内1位」などの複数の重大な懸念事項がクロスする街が、東京都豊島区。課題が渋滞しているからこそ、豊島区で打開策が見出せれば全国のモデルケースになり得る。そんな思いから、「介護・不動産」の連携について意見を交わす座談会を二度にわたって豊島区にて開催。三度目となる今回も、ケアシリテーターは独立系の賃貸不動産管理会社 株式会社ハウスメイトマネジメントで長年現場の仕事を経験してきた伊部尚子さん、様々な企業等で家族介護の相談を受けているアモールファティの羽吹さゆりさんが担当。豊島区を中心に介護・不動産それぞれの業界の従事者をコーディネートいただき、大所帯での意見交換の実現に至った。

入居者の身体状況はどうなっている？  
情報をどう得るか

**不動産** 伊部 前は、ご高齢の入居者様の中でも「介護・支援が必要にもかかわらず介護認定を取得できていない方」に焦点を当てて議論を交わしました。

すでに挙がっている課題に加えて、わたしたち不動産管理会社は「入居者様が介護認定を取ったのかどうかを知る術がない」という問題も抱えています。実際に、入居者様と連絡がつかず警察を呼んで鍵を開けてもらう騒ぎになったところ、入院されていたという例もありました。生活保護受給の方だったため行政には連絡が入っていましたが、不動産管理会社には連絡がないのです。

入居者様の健康状態や介護に関する情報共有はどうかすれば実現されるのか。これもまた、現在のわれわれ不動産業界の重大な課題です。今回はまず、この話題について相談させていただきます。

なかには、賃貸者契約の際に、居住支援協議会が作成した「入居者情報シート」等と呼ばれる書類を導入している自治体もあります。本シートには「介護支援サービスの利用状況」や「要介護度」を記入する欄もあり、一見便利です。しかし、入居の際に介護を受けていなければ、空欄のまま提出されてしまいます

よね。空欄で提出されたまま、その後アップデートされず、本来の目的を成さないのではないかと懸念しています。

**介護** 羽吹 なるほど。介護事業所でも「基本情報シート」という同様の書類を利用者様にご記入いただくのですが、定期的に更新されれば有効活用できるものだと思います。記入のタイミングは入居時のみでしょうか？ 記入される際に、たとえば「65才を過ぎたらこのシートをご記入いただきます」と事前に告知することはできませんか？

**不動産** 伊部 これから新規に入居される方であればできると思います。また、契約更新が基本



的には2年ごとにあるので、その際に65才を過ぎていたら「確認シート」のようなものにご記入はいただけるかもしれません。もし新しい情報があれば、契約情報に加えていく。同様のアイデアが全宅連でも挙がっております。

**不動産** 池下 弊社では入居者様のご契約情報の管理をソフトウェアで行なっているのですが、現状では、年齢ごとにポップアップするという機能が備わっていません。そのため、「65才以上になったら通知」という習慣を社内に浸透させていくことが難しいかもしれません。

入居者様が介護事業所さんと契約された際に、住居の種別をきいてももらうことはできませんでしょうか？ 介護事業所さんから「分譲として所有されているんですか？」「管理会社があるんですか？」「管理会社に通知をお願いします」とか「共有させてください」といったアナウンスをしていただく方が、流れとしては自然だとわたしは考えています。

**介護** 羽吹 情報収集に関しては、現状ではケアマネの力量に託されますね。ツクイさんの居宅サービスではどうでしょうか？

**介護** 田中 そうですね。不動産管理会社さんに情報を出すというのは個人情報観点からできるかどうか難しいところです。

不動産の貸し借りにも  
「身元引受人」が必要な時代？

**介護** 田中 看取りまでを担う有料老人ホーム等の介護施設では、入所・入居の際に保証人と身元引受人を必ず立てていただくことになっていきます。

サ高住でももちろん、入居の際に保証人と身元引受人として、70才未満のお身内の方を立てていただいています。ご自分にお子さんがいらつしやなければ、姪っ子さんや甥っ子さんにお願ひしたり。民間で年齢制限があると不便もあるかとは思いますが、不動産の貸し借りに身元引受人がまったく設けられていないというのはひとつの懸念事項なのかな、と。

**不動産** 伊部 たしかに身元引受人という考え方はわたしたちの業界にはないですね。法的にどういう義務があるんだろう。サ高住ではどう定義されているんですか？

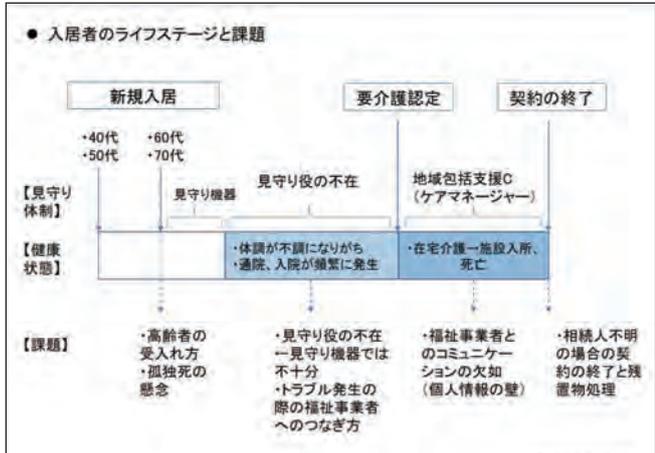
**介護** 田中 最終的なご遺体の行き所、引き取り先ですね。しっかり引き取ってくれる方を記入する欄が契約書の中にあるんです。

**不動産** 荒井 「身元引受人いますか？」とはなかなか聞きづらいですね……。

**介護** 羽吹 身元引受人を立てるのも介護が必要になる年齢からでいいと思います。介護保険の第一号被保険者が65才以上なので、その時点で「危険度が高まる」と認識していただけたら。超高齢化のこれからの時代、不測の事態に備えていただくことは重要ではないでしょうか。

**不動産** 森下 しかし、われわれが管理する賃貸として「看取りまでする場所」ではないんですね。

**不動産** 伊部 そうですね。たまたまそうなっているだけです。



**不動産** 森下 身元引受人を立てていただくように働きかけることが、そもそも業務外なんです。

また、サ高住にはそれなりに資産のある方が集まりますが、われわれが管理する中でも家賃の安い「風呂なしアパート」のような物件を希望される方は層が異なります。親族とは縁を切っていたり、連帯保証人になつてくれるお身内がまったくないという方も少なくありません。

**不動産** 深山 身元引受人を立てることを強いてしまうと、今度は住宅確保が難しくなるケースも出てきてしまうかもしれませんね。

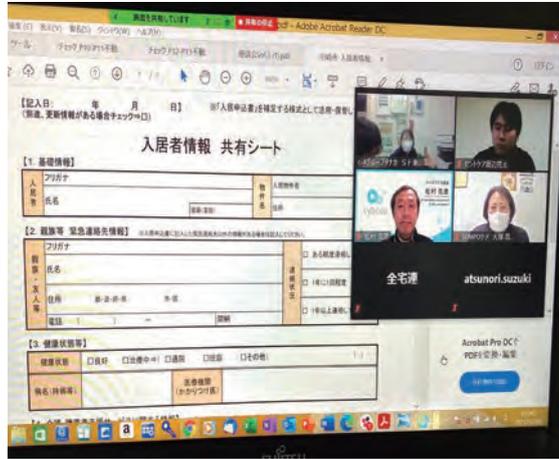
**介護** 田中 たしかに、それはそうですね……。

### 不動産×介護 自費サービスで連携の可能性は

**介護** 羽吹 前は「介護認定を受けていない高齢者」向けの自費サービスの可能性が話題に挙がりましたが、各事業所さんでは同様の方々に具体的にはどのようなサービスが提供できそうでしょうか？

やはり定期巡回サービスのようなものになりますか。

**不動産** 伊部 金額感も教えていただきたいです。



大家さんが契約をして、入居者さんに提供していただくというパターンも考えられると思うので。

**介護** 渡辺 弊社では、定期巡回サービスは中重度の方向けに導入しており、現状では人員的にも介護認定未取得の方に提供するのには難しいです。ですが、要支援の方が利用するようなら、いわゆる普通の訪問介護のサービスであれば、介護保険を使わずに利用されている方もいらつしやいます。買い物やお掃除・洗濯のお手伝いなどの家事援助を主に行なっており、大体1時間につき4000円くらいです。

**介護** 松田 弊社でも、基本的に定期巡回サービスは中重度の方を対象にしていますね。介護

認定未取得の方に対する訪問介護サービスは、要介護認定の申請を行っていただくことを前提に提供しています。介護認定調査が判定されるまでの費用は、要介護1〜5と認定された方は介護保険の自己負担分（1割〜3割）を、要支援1〜2の方や自立と認定された方は、自費で1時間5000円のご負担をいただいています。先ほどのお話にもあった家賃2万4000円でやりくりされているような方たちにはかなり厳しい価格帯かもしれませんが。

**介護** 羽吹 自費の訪問介護サービスはどうしても高くなってしまいうという現実がありますね。人件費がかかっていますから仕方がないとは思いますが。なので、あくまでも「見守りカメラ」のつもりで簡単に、でも、介護の専門家が実際に行つて、五感を駆使して高齢者さんの状態を確認してくれるようなサービスがあるといいですね。

**介護** 田中 うちのサ高住にも介護保険を受けていない自立の方がいらつしやいますが、体調を崩された際には1日30分の「巡視」を分割で、元から行なっている安否確認のサービスに「自費の追加オプション」としてご依頼いただくことがあります。マンションやアパートにご高齢者が何人かいらつしやるので

あれば、同様のサービスを建物ごとに請負えたら理想的なのかなと思います。

**羽吹** サ高住のように一棟にみなさんが入っているならいいのですが、ひとつの建物に高齢者さんがまとまって住まわれているわけではないですね。なので、マンションやアパートという括りに限らず、たとえば、東池袋だったら「一丁目は何件」といった請負い方も可能ではないでしょうか。あくまでも「たとえば」ですけど。見守りというかたちで10件何って、5000円とか。そういう契約であれば実現可能ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

**田中** できるようにしてあげたいな、という気持ちになりますよね。

**電話なら手軽に実現可能？**  
**本人の同意の構築が大きな課題**

**伊部** 「人」に安否確認をしていただけるサービスであれば、たとえば電話だけだとしても、機械の見守りよりはずっと安心感があります。電話ならわたしたちにもできるのかもしれません。専門的な知識がないので、たとえばお話ししても「なにをどう聞いたら相手の状態がわかるのか」「その状態によつ

てどのような変化が見出せるのか」そういうことすらわからないので。

**羽吹** 定期的「葉飲んでますか」とお電話するようなサービスであれば、案外手軽に始められるかもしれませんよね。実際にこのようなサービスを行なっている方、いらっしゃいませんか？

**田中** あ、弊社ではおひとりだけ、お電話での安否確認を請負っています。独居の方で、自費でのご利用です。毎日ではないのですが、定期的にお電話をしています。最近ではこちらが電話をする前に、ご自分から声を掛けてくださることもあります。このようなサービスを入り口として、介護保険につなげることも可能かもしれませんね。

**羽吹** 「なにか変化があった際には、介護認定の申請までお連れしますよ」というような新たなサービスに応用できそうですね！

**松田** 会社としてどの程度できるか、という点が課題ですね。また、たとえば不動産管理会社さんと介護事業所で見守りサービスの契約をしても、ご本人の同意が取れない場合は勝手に行うことはできません。その同意をどのように構築していくかが難しいところだと思います。

**羽吹** そうですね。大抵の方が「いらない」っておっしゃりそうでもんね(笑)

自費のサービスは作ろうと思えば作れる。ただ、本人に拒否されたらそれまで。そもそも、介護認定も「申請したくない」と言われただけです。なので、どうしても取りこぼしが出てきてしまう。サービスとしては存在しても納得してもらえなければ介入できない。その点が大きな課題ではありますよね。

### 新たな一歩へ

**深山** 複合的な課題が重なり合っていて、やはり行政を巻き込んでいかないと抜本的な解決は厳しいですね。



**羽吹** そうですね。ここで洗い出した課題をまとめて、行政に相談してみるという流れが現実的な策ではないでしょうか。

われわれ介護事業所のチームは、介護認定を取得されている方たちにとっては非常に有力です。その反面、未取得の方たちとは関わりが難しい立場でもあります。地域包括や社協の管轄でもあるので、この2つと連携を取るということも視野に入れていければいいかなと。

**荒井** 今回の座談会を通して、われわれ不動産管理会社も高齢の入居者様とのアポイントをもう少し増やせるのではないかと感じました。他にも2年に1回の契約更新の際に、65歳以上の方には「確認シート」への記入をお願いしたり、65歳以上の方は1年更新にするなど、改善の余地がありそうです。更新期間を半分にする更新料が倍になってしまいますので、そこは大家さんと入居者さん両方が困らない方法を考えればいいと思います。契約期間の途中からの変更はできないので、新規のご入居者様からの対応にはなりますが、でも、そういった改善策がきつとあるように思えます。



# 音楽

## もつと身近に 音楽療法を！

株式会社 Wellone's  
／取締役

Leaf 音楽療法センター  
／センター長

武知 治樹 さん



武知さん

音楽療法士として活動する武知治樹さん（35歳）。現在は株式会社 Wellone's 取締役および同社が運営する Leaf 音楽療法センターにてセンター長を務め、高齢者施設等への音楽療法サービスの提供や音楽療法士の育成に力を注いでいる。元々「音楽家」への夢からスタートした武知さんの経歴を、今後の抱負とともに紹介したい。

### 音楽療法士を目指して

高校まではフルートを演奏し、音楽家への道を目指したという武知さん。「音楽を通じて、感動や何かを届けたいと思って。これは今でも変わらないですね」と語る姿からは、音楽に対する思い入れが伝わってくる。

高校時代には音楽大学への進学を希望するが、気持ちが追いつかずに体調を崩すことに。それでも「音楽に携わりたい！」という気持ちは大きく、その中で知ったのが「音楽療法士」だったそうだ。

その後、国際音楽療法専門学院（埼玉県）に通い卒業に至るが、突き付けられたのは「卒業しても音楽療法士として働けない」という現実。同期の中には一般企業に就職した仲間もいた中、音楽療法士への道

を選んだ武知さんはフリーの音楽療法士として活動しながら、介護職としてもデイスサービースに勤務することに。



演奏会での武知さん(学生時代)

### Leaf 音楽療法センターとの出会い

ところが、デイでの業務に追われ満足に音楽療法を提供することはできず「もつと突き詰めた」という思いから見つけ出したのが、現在所属する Leaf 音楽療法センターだった。母校からの紹介もあり、音楽療法士として勤務することに。経験を積み、6年前には現在主流とされる日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格取得に至った。

仕事内容としては理想的な職場だったが、いち音楽療法士として登録のうえ働く限りでは生活に不安があったという。27歳の時に結婚を考え、一般企業への就職を探した時期も。結果、採用先は見つからず……。困り果てたその時、在籍して

いたセンターの社長から声をかけられ、今度は社員として再就職することに。

「やっぱり音楽療法に携わりたい!と、気持ちが固まりました」と当時を振り返る武知さん。社員として様々な業務を担う中、自分のように諦められない人を応援したいという気持ちが強くなったという。

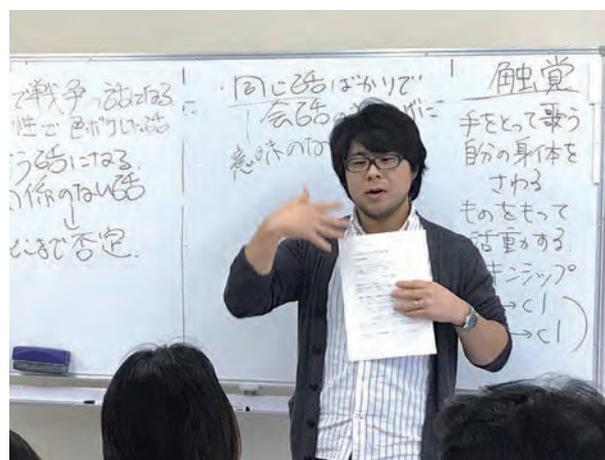
### 音楽療法士の育成にあたって

Leaf音楽療法センターでは、高齢者施設等へ音楽療法サービスを提供するほか、学べる場としてスクールを開設。武知さんは現在センター長として、両業務を管理している。



放課後等デイサービスでの音楽療法

「多くの方に、高齢者の皆様への生きがい支援の知識・スキルを身に付けていただけたら」と語る武知さん。そのため、できる限り一人ひとりの受講生と向き合いながら、修了までのフォローを心がけているという。なお、武知さんが取得した日本音楽療法学会認定音楽療法士は、医療の分野が含まれるなどで取得までのハードルが高い資格となる。そのため同センターでは高齢者を対象とした内容に絞りつつも、知識を現場で活かすための「現場力」を重視したカリキュラムが組まれている。春からは更に専門性高く、学びやすい講座にするためにリニューアルし、受講修了者は、Leaf音楽療法センター認定高齢者福祉音楽支援専門士の資格を取得する事ができ、仕事の紹介もあるそうだ。



### もっと身近に音楽療法を!

「音楽療法が、もっと身近なモノになれば嬉しいですね」と語る武知さん。そのため全国各地で当たり前のように学べるようになり、そのために何ができるのか、と模索しているという。

また、音楽が得意でない方にも、音楽療法に近い活動ができるような提案をしたいと抱負を語る。「歌うレクをされるのであれば、その後の話の盛り上げ方なんかを提案したいですね。回想につなげることができず、ただ単に歌うだけ

で終わらないような展開を提案できると思うんです」。

「施設の皆さん、仕事がいっぱい余裕がないと思います。介護の中で、音楽をもっと利用していただきたいです。例えば、徘徊の症状が出てしまった方に対してあの手の手で戻っていただくより、一緒に歌いながら戻ってくるとか。それができれば、お互いに安心して帰ってこれると思うんです。そんな感じで、たくさん音楽を活用してもらえような提案をし、現場で活用いただけたら嬉しいです!」



ライター 藤川 悠子

## 養成講座ご案内



Leaf音楽療法センター  
公式ホームページから  
詳細、資料のお問い合わせを  
受け付けております。

# 音楽療法を学び、始めたい方のために 高齢者福祉 音楽支援専門士

高齢者のココロとカラダを支える  
「音楽」の使い方があります。

高齢者福祉に用いる音楽療法の知識・技術を学び、音楽支援の専門家を養成するための講座です。



※講座リニューアルキャンペーン実施中！ 詳細はHPまで!!

## 養成講座の特徴

### 1. 高齢者福祉のための音楽療法を学べる

経験豊富な現役の音楽療法士から、高齢者の健康を支える実践的プログラムを重点的にかつ短期間で学ぶことができます。

### 2. 音楽経験がない方でも受講可能

前期には、楽器未経験の方でも学習いただける伴奏法の講義が含まれます。簡単なコードを覚えながら練習していくことで、後期の研修に臨んでいただけます。（有料レッスンもございます。）

### 3. 仕事に繋がるプログラム

講座修了後は当センター所属音楽療法士として定期的な音楽療法のお仕事を依頼する他、個人での活動を希望される方へは、活動のための独立支援プログラムを準備中です。

### 応募対象者

- ・音楽の仕事の幅を広げたい方
- ・人を笑顔にする仕事や副業をしたい方

### 講座期間・申込

前期（3～6カ月）・・・通年  
お申込みの翌月から始められます。

後期（6カ月）・・・年2回開講

- ① 1月開講（申込受付 10～12月）
- ② 7月開講（申込受付 4～6月）

### 受講費用

一般	:	352,000円（税込）
前期のみ	:	77,000円（税込）
後期のみ	:	330,000円（税込）

後期申込—早期割・・・50,000円割引  
※前期修了～1カ月以内に後期お申込みの方



## 【Leaf音楽療法センター】

東京都新宿区高田馬場1-28-7 高田馬場ヒルサイドパレス305号  
連絡先：03-6233-6191 info@leaf-mt.jp https://leaf-mt-center.com/

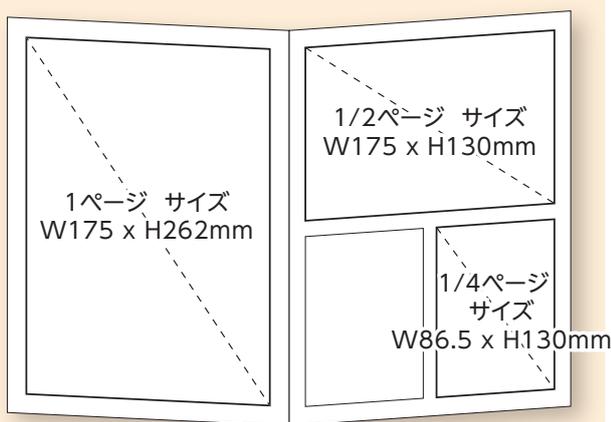


## 6月号 掲載情報 募集中!

介護施設等の  
求人や事業所紹介も掲載できます。  
お気軽にお問い合わせください。

### 広告 掲載費

- 1ページ 110,000円(税込)
- 1/2ページ 55,000円(税込)
- 1/4ページ 27,500円(税込)



A4版 冊子

- 同封チラシ(A4版) 110,000円(税込)

サンプルは、1/4ページ サイズ です。(原寸)

#### 大田区 通所介護



サンプルです。

#### おかげさまで10年を向かえました!

ご利用者が安心してご自身で出来ることにチャレンジして頂けるようなサービスを心掛けております。

#### 介護パート・アルバイト急募 ~お好きな時間で勤務可

- 【募集職種】 訪問介護職員 | 土日休み | シフト自由
- 【雇用形態】 パート・アルバイト
- 【施設形態】 訪問サービス
- 【勤務時間】 09:00~18:00の間の1時間~OK
- 【給与】 生活援助1,250円 身体援助1,400円
- 【勤務地】 東京都大田区□□□□0-00-0
- 【応募方法】 電話連絡の上、履歴書持参ください。

#### デイサービスセンター

- ◆住所：東京都大田区□□□□0-00-0
- ◆TEL：00-0000-0000 ◆FAX：00-0000-0000
- ◆定員：□名 ◆スタッフ数：□名
- ◆地域：大田区



管理者：□□

特徴	入浴介助 加算	介護職員処遇 改善加算I	レクリ エーション	外出行事	季節 イベント
	車椅子 送迎OK	自費利用有	宿泊可	夕食提供	

申込書は、次のページにございます。

介護情報誌 出版部  
FAX : 03-6369-3048

## 広告掲載（6月号）申込書

介護 Times、TOWN 介護 への広告掲載申し込みをいたします。

年 月 日

掲載サイズ	金額（税込）
<input type="checkbox"/> 1 ページ	<b><u>110,000</u> 円</b>
<input type="checkbox"/> 1/2 ページ	<b><u>55,000</u> 円</b>
<input type="checkbox"/> 1/4 ページ	<b><u>27,500</u> 円</b>
<input type="checkbox"/> 同封チラシ(A4版)	<b><u>110,000</u> 円</b>

※お申込みの掲載サイズにをお付けください。

\*表2、表3、表4につきましては別途金額になります。

貴社名 \_\_\_\_\_ 印

ご担当者名 \_\_\_\_\_

ご連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

### E-mail

- ・ご掲載のお申し込みは、本申込書にご捺印の上、FAX での送付を弊社確認後、または弊社営業にお渡し頂いた時点で成立とさせていただきます。
- ・広告掲載代金は、発行前にお支払い願います。

・ご不明な点がございましたら、介護情報誌事務局（03-5939-6682）

へお問い合わせください。

令和3年4月15日

本誌編集長の藤井が運営・管理・監修をする  
『介護の資格最短net』で読むことができます。



介護業界で役立つ資格を  
最短で取得したい方へ



介護の資格最短net

<https://www.acpa-main.org/kaigotimes.html>

Members Introduction  
メンバー紹介



発行人

高橋 寿光



発行人及び編集長

藤井 寿和



カメラマン

近藤 浩紀



インタビューアー

半田 あい



ライター

中澤 真弥



ライター

塩野 涼子



ライター

satomi



ライター

秦 佐起代



ライター

藤川 悠子



ライター

谷口 のりこ



アドバイザー

小林 弘和



事業責任者

戸田 昂志



総務責任者

岩崎 巧磨



デザイン・制作

(株)リードプランニング



広告代理店

(株)ピーコック印刷

発行所 株式会社 是眞  
〒115-0041 東京都北区岩淵町 32-11  
TEL.03-5939-6682

企画・編集 株式会社 是眞 合同会社 福祉クリエーションジャパン

発行予定 2月、4月、6月、8月、10月、12月

介護施設・広告掲載のお問い合わせは  
株式会社 是眞

☎ 03-5939-6682 まで

■本誌記事・写真等の無断転載、使用を禁じます。

# 驚きのコストダウン

献立表・調理レシピ付き

## 介護事業所向けの 食材販売



1日  
3食

# 490円

(税別)

朝130円  
昼180円  
晩180円  
お米・調味料別

★+60円でおやつをつける事も可能です ★朝・夕2食可

安心の食材を、  
美味しい献立で

新鮮な食材を献立に合わせて人数分配送いたします

栄養士がバランスを考えた美味しい献立を作成します

旬の食材を取り入れた(季節を感じるメニュー)提供

※ご要望があれば、米・調味料も配達いたします

〈例〉30名様利用の場合

1日3食 650円の場合

年間 7,117,500円

1日3食 490円の場合

年間 5,365,500円

ズバリ  
年間  
\コストダウン/  
-1,752,000円

東洋商事株式会社は

今まで飲食店様(全国約6,000軒以上)食材を供給している会社です。  
この度、そのノウハウを基に介護事業所向けの食材を販売することになりました!  
各仕入れ業者様のご協力で、この価格での提供が可能となりました。

対応エリア

練馬区、板橋区、北区、豊島区、小平市近隣

TOYOSHOGI 食品総合商社 東洋商事株式会社(首都圏営業所)

〒179-0076 東京都練馬区土支田1-35-32 <http://www2.tsnet-web.jp>

お問合せ先 TEL.03-5905-1511

介護食担当  
梅田



『医療法人忠恕 春日部在宅診療所 ウエルネス』スタッフの皆さま

# 個人さま 法人さま 取材先募集中

掲載  
無料



目指す介護を発信しませんか?  
本誌へ掲載する記事を大募集



介護を応援する情報誌〔カイゴタイムズ・全国版〕

取材・広告に関するお問い合わせはこちら

▶▶▶ 株式会社 是眞 〒115-0041 東京都北区岩淵町32-11 電話03-5939-6682

有料広告募集

## 伝えたい人に伝える広告

ターゲットに直接届く広告

印刷・掲載のコミコミ価格

広告サイズ多数対応(1/4~フルページ)

# 介護Times 広告主募集